

病害虫防除技術情報第6号

令和4年7月1日
三重県病害虫防除所

**トビイロウンカ、セジロウンカの初誘殺を確認しました。
水田での定着状況や関係機関からの情報に注意してください。**

1. 対象作物 水稻(早期、普通期)
2. 対象病害虫名 ウンカ類(トビイロウンカ、セジロウンカ)
3. 発生状況
 - (1) 松阪市嬉野川北町の予察灯(100w水銀灯)では、6月22日にセジロウンカ(1頭)、同24日にトビイロウンカ(3頭)の初誘殺を確認しました。セジロウンカの初誘殺は平年7月2日であることから本年のウンカ類の飛来時期は早い状況です。
 - (2) 日本植物防疫協会提供のウンカの飛来解析によると、三重県には6月6日、15日、22日、23日、25日に飛来した可能性があります(6月30日現在)。
 - (3) 近県では静岡県、奈良県でトビイロウンカの誘殺が確認されており、三重県でも広い範囲で飛来したと推察されます。
4. 防除対策
 - (1) 本年は飛来時期が早いため普通期水稻だけでなく早期水稻でも被害が発生する可能性があります。今後、圃場での定着状況や関係機関からの情報に注意しましょう。
(三重県病害虫防除所<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>)
 - (2) 以下のとおり作期ごとに防除を行いましょ。
 - ①早期水稻
◎穂ぞろい期にカメムシ類防除を兼ねた農薬散布を行いましょ。
 - ②普通期水稻
◎移植時にウンカ類を対象とした箱施用剤などで防除を行って

いない場合は、7月後半に農薬散布を行いましょう。

◎出穂期以降にはカメムシ類防除を兼ねた農薬散布を行いましょ
う。

- (3) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元
に十分かかるよう散布してください。
- (4) 感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにし
てください。

表 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

虫種	農薬成分名
トビイロウンカ	イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、ブプロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル



図 トビイロウンカ成虫（左：長翅型、右：短翅型）

(5) 薬剤は三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>で検索することができま
す。

農薬(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。